

議員の経歴

平成19年 8月 可児市議会議員当選
建設経済委員会所属
議会広報特別委員会発足 委員就任



平成20年 名鉄広見線対策特別委員会発足 委員就任
可児市ソフトボール協会副会長 2年間在任
市議会議員研修会昇ゼミ立ち上げ（毎月1回開催中）
総務企画委員会 副委員長就任

平成21年 副議長就任
都市計画審議会 委員就任
文教福祉委員会所属

平成22年 議会改革調査研究プロジェクトチーム立ち上げ（約1年間）
副議長の一般質問初実行
副議長退任
建設経済委員会 委員長就任
民生委員推薦委員会 委員（在任中）
名城大学公開講座パネラー出席
議会基本条例調査研究プロジェクトチーム立ち上げ

平成23年 市議会議員に再選
建設経済委員会所属

平成24年 議長就任
建設市民委員会所属

平成25年 議長退任
総務企画委員会所属

平成26年 総務企画委員会所属

平成27年 可児市監査委員就任（在任中）
教育福祉委員会所属



平成23年 釜石市にて

フリマ御礼 私達は忘れません!

4万3,339円を被災地へ 後援会主催 震災支援フリマ&バザー

8年前に能登震災支援に始まったフリーマーケットとチャリティバザーはNHK歳末助け合い協賛になり、4年前からは東日本大震災支援となって続いています。

去る5月31日に開催した今回は、フリーマーケット売り上げからの寄付、バザーの売り上げ全額に募金を合わせて、43,339円を日本赤十字社を通じて、東日本大震災被災地の復興に役立てていただくよう送りました。

皆様のご協力誠に有難うございました。

今までも これからも

さかい正司が

全力で取り組みます

- ☆高齢者が輝くまちづくり
- ☆安心して子育てできるまちづくり
- ☆若者に選ばれるまちづくり
- ☆市民と一体化した議会づくり
- ☆笑顔が誇りのまちづくり

座右の銘

広く・遠く・ゆっくり

その心は「広く」即ち広い視野で見る。地域、市、国、世界、地球を・「遠く」即ち将来を見据えて、子々孫々に亘り幸せであるために・「ゆっくり」即ち歩みの遅い方々も一緒に前へ進み続けたい。



澤野晴風先生書（後援会事務所掲示中）

さかいまさし通信

平成27年7月 第32号

ダイジェスト版

ご挨拶



可児市 市議会議員
さかい 正司

座右の銘 広く遠くゆっくり

8年前、議員になった時はただやみくもに、「まちを良くするのだ！」と力んでいたことを思い出します。
8年間で、副議長、常任委員長、議長、市監査委員を歴任させていただいた今も、その気持ちをもっと成果を上げなければと焦りすら感じています。市民福祉の向上が議員最大の使命であるという原点を、今改めて再確認しています。更なる飛躍を期して、スタートを切らせていただきました。変わらぬご支援の程、お願い申し上げます。

過去の主な行動

- 平成27年**
 - 市監査委員就任
 - 第3回定例会一般質問（別途掲載）
 1. プレミアムKマネー
 2. 電気自動車の普及
 3. 低投票率対策
 - 議案討論（正式議案名は省略）
 - 児童館設置及び管理
 - ディサービスセンター
 - 介護保険条例
 - 保育所の設置及び管理
- 平成26年**
 - 議案討論（正式議案名は省略）
 - 25年度一般会計決算
 - 請願討論 手話言語法
 - 集団的自衛権
 - 特定秘密保護法
 - 可児工業高校交流AUST教師ホームステイ受入れ
- 平成25年**
 - 県水道料金値下げ知事に直訴
 - 議長への夢>卯の花壇の里帰りを（後日実現）
 - いじめ防止条例を日本で初めて可決
 - 議会基本条例制定
 - ☆慢性疲労症候群救済
 - 意見書を県市議長会に提案
 - ☆名城大学可児市撤退
 - 問題で大学本部へ、理事に面会
 - 可児工業高校交流A
 - UST高校生ホームステイ受入れ
 - ☆議長退任
 - 第5回定例会一般質問
 1. 名城大学撤退の課題
 - 回答：大学との緊密な連携、県のHP掲載依頼
 2. ウィンドウズXPサービス終了
 - 回答：間に合わない場合ネット接続中止も考慮
 - 議案討論 職員給与削減
- 平成24年**
 - 第1回定例会一般質問
 1. 高齢者福祉施策の後退と市民協働
 - 長幼の序・人情とソロバンのバランスを
 - 回答：高齢者福祉サービス継続のため辛い決断
 - 第2回定例会一般質問
 1. 空き家対策に議員提案の条例制定準備
 - 回答：条例制定を提起されれば協議
 - ☆結果：素案作成・後日議員提案で条例制定
 2. 公共施設の長寿命化と財政
 - 回答：来年度より組織体制と人材育成を進める
 - 議長就任
- 平成23年**
 - 2期目当選
 - 第6回定例会一般質問
 1. ヘルスアップ事業・健康増進施策は投資事業
 - 回答：ヘルスアップは説明不足・制度設計考えたい
 2. 南帷子小学校キッズクラブの検証と今後



議長時代接待に腕前発揮？

- 回答：ボランティアで成功、今後もチャレンジする
- 第7回定例会一般質問
 1. 住宅団地火災対策と避難訓練見直し
 - 回答：火災警報器設置全国71%、加茂管内42%
 - 結果：水防訓練実施
 2. 運転免許証返納者優遇と公共交通
 - 回答：公共交通体系を25年くらいにはまとめる
- これ以前の詳細記録はホームページから「活動誌」16号をご覧ください。
- 平成23年**
 - 主な一般質問
 - 予算編成過程の公開と市民の意見反映
 - 期日前投票所増設・ポスター貼の仲介
 - 緊急情報キットを希望者にも配布を
 - 防災計画の抜本的見直し必要
 - 自殺者減少に積極的取り組みを
 - ☆1期目改選
- 平成22年**
 - 議会改革調査研究PT立ち上げ
 - 副議長の一般質問初実行
 - 主な一般質問
 - 市民憲章の価値判断は
 - 期日前投票所を商業施設に・投票率UPを
 - 選挙ポスター貼を一括委託に
 - 岐阜社会保険病院の支援を
 - 新市長公約の高齢者福祉とは
 - ☆副議長退任
 - 建設経済委員長就任
 - ☆名城大学公開講座パネラー出席
- 平成21年**
 - 主な一般質問
 - ケータイの知識普及で子供を守ろう
 - 子供と高齢者のふれ合い場所を
 - 岐阜社会保険病院への期待と医療体制
 - 副議長就任
 - ☆都市計画審議委員就任
- 平成20年**
 - 可児市議会議員研修会昇ゼミ立ち上げ
 - ☆名鉄広見線対策特別委員会立ち上げ
 - ☆総務企画委員会副委員長就任
 - 主な一般質問
 - 子育てパスポートで皆子育て参加
 - 地球温暖化防止の積極的取り組み
 - 認知症の早期発見と治療に地域力を
 - 消防団の諸問題解決を
 - 市のプライドを取り戻そう
 - 特定健康診査の受診率向上策を
- 平成19年**
 - 市議会議員初当選
 - 通信「まめなかな」第1号発行
 - 主な一般質問
 - 市議会議員選挙の開票遅れ
 - 学校余剰部分を世代間交流拠点に活かせ
 - EMボカシでロハス思想の後押しを
 - 高齢者の生きがいと能力活用

まさしの議会発言

今回第3回定例会の一般質問は3題行ないました。

- 1 プレミアムKマネー**
 - Q プレミアムKマネーの申込をしたが、外れたとの声が多く届いた。応募者数等の実数は。
 - A 応募者数は1万4,338人、当選者は9,580人。
 - Q 公平を期すための抽選方法ほどの様にしたか。
 - A コンピューターの無作為抽出法で行った。
 - Q 少額申込者に配慮されたか。
 - A 残数を優先的に割り当てる配慮をした。
 - Q 今後プレミアムKマネーをどの様に展開するか。
 - A 現時点では未定。
- 2 電気自動車の普及を**
 - Q 環境に優しい車を公用車に導入する意思は。
 - A 配慮したいが高額なため困難。
 - Q 市民がEVやPHVを購入する際に車から電力を取り出す設備に助成する気持ちは。
 - A 投票率上昇に効果の有るものを物色したい。
- 3 低投票率の対策を**
 - Q 一部の方のメリットになるのではない。
 - A 市内には11カ所しかない、自動車用急速充電器を公共施設に設置し、市民のロハス思想の後押しをする気は。
 - Q 費用対効果検証や国・県の施策を待つ。
 - A 最近の投票率低下をどの様に認識されているか。
 - Q 憂慮すべき状態で歯止め策を講じなければならぬ。
 - A 期日前投票所を2カ所増設した、その検証結果は。
 - Q 期日前投票の増加には寄与したが全体は下がった。
 - A 18歳の選挙権や政治教育についてのお考えは。
 - Q 主権者教育が必要と思う。自ら投票回数を記録する「選挙パスポート」を成人式実行委員会に提案してみては。

水道料金の取り組み報告

前回選挙で水道料金値下げに取り組みと宣言しましたので、そのご報告をします。（本誌27号参照）議長時代に関係する市町議長に呼びかけて、県水（近隣11市町は県から水を購入）値下げ申し入れの確認をしました。

平成25年1月12日、高額水道料金で高齢者は苦しみ、子育て世代は住めないと知事に直訴、知事は即、事情は理解したと言われ、翌年度から市の負担金が年額約1億円減額されました。しかし水道使用量の減少、設備の老朽化進行で、このお金を料金値下げに結び付けることができなかつた事をお詫び致します。

編集後記

■議場とは

一般質問を長年続けて来ましたが、議員のパフォーマンスの場に偏つたような気がして、最近は討論に力点をおいています。議場とは本来議論する場であるはずですから。（討論内容は図書館等で議事録をご覧ください）

■議会改革

可児市議会の改革度は早稲田大学の研究機関の評価で全国12位になりました。しかし議会改革は内部改革のアイドリング状態、市民との距離短縮を目指して加速したいと思っています。

■議員道

会派のキャッチコピーの働く議員集団は私がつけました。（本誌前号参照）働かない集団が居るといふこと？そのご判断は投票で！議員を辞めたら井戸と堀しか残らなかつた「井戸堀議員」になれと恩師から言われました。「議員道」という私の造語の普及を目指して、恩師を弔いたいと思います。

※今号はダイジェスト版のため、3カ月毎の行動報告は過去8年分に変更させていただきます。また、「ロハスの窓」と「ひつじの毛の話」は、お休みさせていただきます。（★過去の号は酒井正司のホームページ「活動誌」をご覧ください）



ホームステイした先生と地域の子供達